

## 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

## 【製造者情報】

会社名 : Bona AB  
住所 : Box 210 74  
SE-200 21 MALMO, SWEDEN

電話番号 : +46-(0)40-38 55 00

## 【輸入者情報】

会社名 : 株式会社オカベ  
住所 : 〒939-1701 富山県南砺市遊部151-3  
責任者名 : 岡部 学 作成者 : 岡部 学  
電話番号 : 0763-52-4069 FAX番号 : 0763-52-4038  
作成 : 平成22年 2月 3日 整理番号 : Bonaクリエイト フローラ Version 1.00  
製品名 : **Bonaクリエイト フローラ**  
製品説明 : 室内フローリング用オイルステイン

## 2. 危険有害性の要約

## 最重要危険有害性 :

水生生物に有害性、水生環境で長期的に有害な作用をおよぼす恐れ

EU分類の名称 : R52/53

環境被害 : 水生生物に有害性、水生環境で長期的に有害な作用をおよぼす恐れ

その他の情報 : 発火性。汚染された布やホコリ、研磨粉は発火の恐れがあるので、水に  
浸け置くか、金属製の密封された容器に入れること。

## 3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

危険な含有成分 :

成分名	CAS	重量%	特記事項
高沸点芳香族ナフサ	64742-94-5	2.5-10	EU分類 : R10 Xn;R65, R66, R67 N; R51/53
水素系精製重質ナフサ	64742-48-9	1-2.5	EU分類 : R10 Xn;R65, R66, R67

※EU分類の詳細については、16.その他の情報を参照

## • 環境ホルモン疑惑物質

環境省「内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質（65物質）を使用していない。

## • P R T R法

非該当

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに使用をやめ、その場を離れ暖かくして新鮮な空気を吸わせ休ませる。何らかの異常を感じたときや意識のない場合は、直ちに医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 流水でよく洗い流す。衣類や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮膚を石鹸等で洗浄して流水でよく洗い流す。何らかの異常を感じたときは、直ちに医師の診断を受ける。溶剤や塗料用薄め液は用いない。
- 目に入った場合 : できるだけまばたきせず、直ちに大量の流水で15分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。その後、直ちに医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせないで暖かいところに休ませ、直ちに医師の診断を受ける。
- その他 : 使用中、目に異常を感じたり、咳き込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、流眼、うがいをする。その後、直ちに医師の診断を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品安全データシートを持参する。

#### 5. 火災時の措置 :

- 消火剤 : 水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般用消火剤が使用できる。
- 消火方法 : 火災時、着火の可能性があるので周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。移動が出来ない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。着火した場合、容器が高温で破裂する恐れがあるので、消火活動には十分な距離をとること。
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では保護具を着用する。

#### 6. 漏出の措置

- 人体に対する注意事項 : 製品が直接人体に触れないよう、ゴム手袋、保護眼鏡等の保護具を着用する。火気厳禁（発火源や裸火の遮断、喫煙）とし静電気に留意する。乾燥砂、土、その他の不燃性の物に吸収させて回収する。
- 環境に対する注意事項 : 本製品の排水溝、水路、河川、海上等の公共水域への大量の流出は絶対に避ける。漏出物は、乾燥砂、土、その他の不燃性材料を用いて流出を阻止し、残留物を吸着して回収する。密閉できる容器に回収し、安全な場所に移す。付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処理する。
- 除去方法 : 漏出場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。  
付近の着火源、高温体および可燃物を速やかに取り除く。  
衝撃、静電気にて火花が発生しないような材質の用具を用いて回収す

る。

少量の場合は、漏出した場所を多量の水で洗い流す。

多量の場合は、土砂などで流出防止を図った後、乾燥砂、土、おがくず、ウエスなどに吸着させて密封出来る空容器に回収する。回収後、対象物に残ったものは多量の水で十分に洗い流す。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取り扱い :
- ・用途以外には使用しない。
  - ・作業現場への作業関係者以外の立ち入りを禁止する。
  - ・作業エリアで喫煙や飲食は厳禁とする。
  - ・作業中、及び作業後は換気をよくすること。
  - ・作業周囲での火気やスパーク、高温物の使用は避ける。静電気に注意する。
  - ・工具は、火花防止型の物を用いること。
  - ・静電気対策のため装置等は接地し、電気機器類は防爆型（安全増型）のものを使用すること。
  - ・保護眼鏡と帯電防止機能のある保護手袋、及び適切な帯電防止機能のある作業衣を必ず着用すること。
  - ・容器の栓を開けるときや移し替える場合には、液をこぼしたり、飛び出さないよう慎重に行う。また容器を移動するときは、キャップをしっかり閉める。
  - ・塗布直後の床は、滑りやすいので十分に注意すること。
  - ・蒸気やミストは極力吸い込まないこと。
  - ・使用後は手をよく洗い、クリームで手入れすること。またうがいを十分に行う。
  - ・他の塗料等との混合使用は絶対に行わないこと。
  - ・誤飲の恐れのある飲料用の容器等には絶対に小分けしない。
  - ・サンディング後の削り粉は、そのままポリ袋などに入れておくことと発火する場合がありますので、必ず水を十分かけて湿った状態にしてから、密封して処分する。
  - ・使用済ウエス、塗料カス、スプレーダスト等は、廃棄するまで水に漬けておく。
  - ・容器は内容液をできるだけ使い切って廃棄すること。
- 保管 :
- ・直射日光、40℃以上、多湿、及び凍結の恐れのある場所を避けて、密閉して保管する。
  - ・密栓をして倒さないで保管する。
  - ・着火源から離して保管する。
  - ・子どもの手の届かないところに保管する。

## 8. 暴露防止措置

許容濃度：設定されていない

管理濃度：十分に換気すること。通常の換気で十分だが、換気できない場合は有機蒸気呼吸マスクを着用する。

保護具：

- 呼吸器用の保護 : 不要。ただし換気が不良な密閉空間で製品の蒸気濃度が高い場合は、適切な呼吸保護具を着用する。
- 手の保護 : ゴム手袋
- 眼の保護 : 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護 : スリッパ防止効果の高い安全靴や、帯電防止機能を有する長袖の適切な作業衣を着用する。

## 9. 製品の物理/化学的性質

### 物理的状态

- 外観 : 緑色液体
- 引火点 : 78℃ (クローズドカップ)
- 比重 (20℃) : 0.92
- 溶媒に対する溶解性 : 水に不溶

## 10. 安定性及び反応性

- 安定性 : 可燃性液体のため、引火点またはそれ以上の温度で可燃性混合物を生成し得る。
- 反応性 : サンディング後の削り粉は、そのままポリ袋などに入れておくと内部で発火し火災に至る場合があるので、要注意。また、燃焼によりCOx、NOx等の有毒ガスが発生する恐れがある。
- 避けるべき条件 : 火気、熱源、直射日光、40℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
- 避けるべき材料 : 特になし
- 危険有害な分解生成物 : 特になし

## 11. 有害性情報

- 急性毒性 : 水素系精製重質ナフサ  
LC50 Inhalation Vapor, Rat, >14mg/L, 4 hours  
LD50 Dermal, Rabbit, >3,200mg/kg  
LD50 Oral, Rat, >6,400mg/kg
- 局所効果 : 吸入した場合
- ・高濃度の上記を吸入した場合や長時間さらされた場合は、その程度によって頭痛、めまい、嘔吐や意識喪失などを起こす。粘膜や呼吸器系への刺激、腎臓肝臓や中枢神経に悪影響を及ぼす場合がある。
- 皮膚に触れた場合
- ・反復暴露による皮膚乾燥またはひび割れの恐れがある。
- 目に入った場合
- ・刺激性がある。
- 飲み込んだ場合
- ・その程度によって肺障害などを起こす恐れがある。

- 感作性 : アレルギー反応を引き起こす恐れがある。  
慢性毒性 : データなし  
長期毒性 : データなし

#### 1 2. 環境影響情報

- \* 漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取り扱いに注意する。  
特に製品や洗浄水等が地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

#### 1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 下水道以外河川等、公共水域への輩出は絶対に避ける。  
・一定容器にとりまとめ、廃棄物処理免許を持った処理業者に委託して処理する。  
汚染容器、包装 : 使い終わった容器は、水で十分に洗ってから処理する。  
国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

#### 1 4. 輸送上の注意

##### 国内法規制

- 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒物劇物取締法に該当する場合は、法令に定められている輸送方法に従う。  
航空法 : 航空法に定められている輸送方法に従う。  
海上輸送 : 船舶安全法に定められている輸送方法に従う。  
消防法 : 該当する 第4類第3石油類

##### 国際規制

- 国連番号 : なし  
国連品番 : なし  
国連分類 : 該当しない

##### 特別の安全対策

- ・車両等によって運搬する場合、荷送人は運送人に運送注意事項やイエローカードを携帯させる。
- ・輸送前に容器が密閉されているか、又は液漏れがないか確認する。
- ・容器の輸送及び運搬は、常にしっかり固定した状態で行い、特にビン又は缶は輸送中に互いに衝突して破損することのないようあらかじめ適当な緩衝物を詰めておく。

#### 1 5. 適用法令

##### (国内)

- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない  
化学物質管理促進法 (P R T R法) : 該当しない  
労働安全衛生法  
通知対象物質 : 該当しない

表示物質	:	該当しない
危険物	:	該当しない
有機溶剤中毒予防規則	:	該当しない
特定化学物質等障害予防規則	:	該当しない
消防法	:	該当する 第4類第3石油類
危険物船舶輸送及び貯蔵規則	:	該当しない
航空法	:	該当しない
悪臭防止法	:	該当しない
水質汚濁防止法	:	該当しない

(EU)

Rフェーズ (危険段階)

R52/53 : 水生生物に有害性、水生環境で長期的に有害な作用をおよぼす恐れ

Sフェーズ (安全段階) S2 : 子供の手の届かない場所に保管する

S60 : この材料と容器は、有害廃棄物として処分すること

使用時のVOC : 110g/l以下 (EUの屋内外ウッドステインの規制値は700g/l以下)

## 16. その他の情報

EUリスク警告の詳細

R10 : 可燃性

R65 : 有害一飲み込むと肺障害を起こす恐れ

R66 : 反復暴露による皮膚乾燥またはひび割れの恐れ

R67 : 蒸気を吸うと眠気及びめまいを起こす恐れ

R51/53 : 水生生物に毒性、水生環境で長期的に悪影響を引き起こす恐れ

R52/53 : 水生生物に有害性、水生環境で長期的に有害な作用を及ぼす恐れ

EU危険有害記号の詳細

Xn : 健康有害性

N : 環境への危険性

### 【 注意 】

本データシートの記載内容は、最善の調査に基づいて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、また、記載のデータの評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

混合物に使用している化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには最新の注意が必要です。

当製品安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。